

ほっと

NPO法人 ほっと会報

〒590-0048

堺市堺区一条通19・13 上埜ビル2階

☎ 072-228-3011 FAX 072-228-3012

E-mail npo-hot@nifty.com

NO. 66 発行：2024年（令和6年）12月10日

きょうされん全国大会in滋賀に参加

なかまが日頃の思いを発言！楽しかった♪



戻ったら、みんなに報告して次へ！

きょうされん全国大会in滋賀に参加してきました！西積拓人さん、倉橋晃一さん（おおはま障害者作業所）の報告です。

藤井克徳さんの講演 生活保護費の引き下げは重大

1日目は全体開会式に参加。きょうされんの藤井克徳さんからたくさんきょうされんの情勢やニュースについてのお話がありました。中でも印象に残ったことは生活保護の引き下げについてです。生活自体ができなくなるし、物価が上がっている中、最低限度の生活水準に見合う額を保障してほしいという声が多かったことを話されていました。

なかまが楽しむ 「しあわせマップ」分科会に

2日目は、草津市から少し離れたピアザ淡海という琵琶湖が一望できる施設で分科会に参加しました。

私たちはなかまが楽しむ「しあわせマップ」の分科会に入り、それぞれのグループに分かれ、全国から来られたなかま・職員の方々と交流を図ることができました。

なかまが堺をアピール

自己紹介の場面では、緊張もありましたが、大阪から車で来たことや自施設の代表として大会に参加していること、我々が大阪堺市の自慢できることをアピールしてくれるなかまの姿がありました。「堺



市には大仙公園があるねん。そのトイレを掃除する仕事を頑張ってます」などアピールされていました。

「しあわせマップ」づくり 日頃の思いを発言！

実際にグループ内で自分たちのしあわせマップを作っていく中では、なかまが「もっと面白い職員増えてほしい」や「毎日お祭りしてる街だったらいいのに」、「グループホームの部屋が狭い。もっと広かったらいいのにな」など日頃思っていることを中心に、とても具体的な意見を出してくれていました。

みなさんの町で報告もでき、「こんな街があったらいいのにな」をみなさんと共有し合う素敵な時間になりました。合間の休み時間には、なかま自ら名刺交換をしに全国各地の方々のところへ足を運んでみたり、リフレッシュがてら琵琶湖の景観を目前にお昼のお

弁当を食べたりしました。

疲れたけど、楽しかった♪
みんなに報告しよう！

途中、道の駅へ立ち寄り、お土産を購入するなかまの姿がありました。

閉会式では絵画等グッズデザインコンクールの授賞式に「おおはまのなかまもこんな機会に表彰されたら一生の思い出に残るだろうなあ」と支援員として夢焦がれる気持ちを感じたり、次回大会の開催地となる奈良の実行委員へハトンを託すところを見守りました。

大会参加を終え、無事に帰阪し、「疲れたけど楽しい2日間だったね。作業所に戻ったら全体会でみんなに報告しようね」と話し、私たちの全国大会は幕を閉じました。

NPO法人ほっと への ご寄付のお願い

日頃からNPO法人ほっとへの物心両面でのご支援ありがとうございます。今回は事業計画に基づき、年1回のご寄付を呼びかけさせて頂きます。今回、ご寄付の振込用紙を同封させて頂きました。ご協力お願い致します。詳細は、別紙「ご寄付のお願い」です。

小雨の中 ちょっくらワクワクまつい盛況♪

なかまも家族もボランティアも
笑顔で輝いていました♪



楽しく演奏する「かたくらまる」♪

11月16日(土) 第21回ちょっくらワクワクまつり(南区にある作業所が中心になり、地域の方々と共同で開催)に寄せて頂きました。

あいにくの小雨模様でしたが、隣でビッグアイ主催の「ともいき」も開催されていることもあってか、沢山の人が賑わっていました。

なかまも緊張感の中
笑顔で演奏♪やっただい♪

メインステージでは、いろんな方々がパフォーマンスを披露。かたくらまるの音楽仲間も出演。「と

もだち」や、かたくらまるのテーマ曲「みんながみんな英雄」など4曲を披露。緊張感の中でも笑顔で演奏していました♪終わった後に感想を聞くと「やっただい」「よっしやう」と満足そうでした。

コスモスコーラスも
願いを込めた歌声♪

「コスモスコーラス」(なかまも家族、ボランティアで構成)も登場。地域で暮らしたいとの願いを込めた「雪の降る朝に」、そして願い・夢を胸に漂と生きたいと「コスモスの花 青空にゆれて」を見事に歌い上げました。聞きな



賑わうお店



楽しいコーナーにも

がら感動。歌詞と歌声が素晴らしい、気持ちよく伝わり、聞く人の心を響かせました。

この歌は、私たちの歩み。
私たちの歌。私たちの誇り

メンバーの方に聞くと、「この歌は、私たちの歩み。私たちの歌。私たちの誇りなんです。この歌を歌うと力を貰います」と熱く語っておられました。だから、聞く人々の心を打つんですね。

8年間にわたって指揮をされてきた西恒人さんは、「皆さんの歌声には力があります」と語っておられました。

親子で楽しむ参加者♪

会場には、綿菓子、わなげ、スーパースポールなどの楽しいコーナーもあります。

ほんと年金相談会

毎週金曜日

(13時～15時)

・会員の方：3,000円

・会員以外：5,000円

事前に電話予約を！

☎ 072-228-3011



見事に歌い上げる「コスモスコーラス」

会場に来ておられた子ども連れのお母さんに聞くと、「安く遊ばす！」と笑顔でした。お子さんも、「美味しー♪」とジャンプして応えてくれました。また、ある方に聞くと、「子どもが出演するので来ました」と。いろんな方々がまつりを楽しんでいました。

みんなが幸せに

先日、日本高齢者大会inあいちに参加した。全体集会での藤井克徳さん(日本障害者協議会代表)の記念講演は私が楽しみにしていたものだが、感動とともに心に沁みわたった▼「障害者運動からの伝言」人権は生きる力。新たな国際規範づくりに向けてと題してお話された▼まず触れられたのは、日本の障害者施策に横たわる根深い「父権主義」(権威主義+温情主義)のことだ。これは単なる上から目線だけではなく、「当事者不在」という決定的な問題を抱えている。日本の社会保障制度全体に深く根を下ろしている。「父権主義との戦い」が、これからの障害分野と高齢分野の共通のテーマとなる▼また印象的だったのは、日本国憲法と障害者権利条約の根幹に触れつつ、その共通点は「個人の尊厳」を高く掲げていることであり、「運動の大切さ」を強調していることだとの指摘。「運動は裏切らない。無駄な運動はない。必ず生きる」と熱く呼びかけられた▼「全盲になって逆に記憶能力が増大した」と藤井克徳さん。一言ひとこと噛みしめるようにお話しされたことが、より一層心に響き、エネルギーを頂いた。(M)